

支援事例

磁器廃材を活用した 「金のかげら輝く月」の 商品企画立案

株式会社廣部硬器

企業代表者名	廣部 耕一
所在地	福井市
業種	窯業
事業内容	警察・消防紋章など屋外磁器看板の製造販売

活用事業名 福井デザインアカデミー開催事業

事業活用までの経緯

同社は、警察・消防紋章など屋外用磁器看板を製造販売するやきものメーカーであり、大量の磁器廃材に苦慮していた。

やきものを扱う以上、廃材排出は仕方ない面もある。ただ、納期を守るために、数を多めに製造することで、廃棄数が出荷数を上回ってしまうことが多々あり、長年やりきれなさを感じてきた。また現実問題、磁器廃材を投棄してきた敷地内も飽和状態になりつつあった。

そんな中、同社はアカデミーが唱える「自社の課題をデザインで解決する」という試みに興味を持った。また、日々の業務に追われ、新しいことに挑戦する時間が割けない中、約半年で課題を解決する！という目標を掲げて臨むことができるのは大きなメリットと感じ、さらに、デザインの専門家や異業種との交流が魅力的だったため、受講に至った。



活用内容

本事業を通して実施を目指したのは、磁器廃材を使ったモノの商品化。アカデミーを受講し辿りついたのは、磁器廃材の純金部分を活用したステップストーン（飛び石／敷石）だった。商品名は「金のかげら輝く月」とし、廃材活用の積極的な姿勢や、その商品ストーリーを感じてもらいたい想いも込めた。

アカデミー終盤には、福井商工会議所主催の「新商品・新サービス合同プレス発表会」を活用し、このステップストーンをPR。地方紙2社の紙面にはカラーで大きく掲載された。商品化の過程をSNSで発信をしていたことも功を奏し、自社サイトで県外からの注文が少しずつ入るようになってきている。



利用された企業様の声

磯部 えりな 氏

アカデミーに参加したことで、デザインという思考のもと商品開発を行うことで、効率よく効果的に消費者にアピールすることができると実感しました。アカデミーでベースを固めた磁器廃材商品をもとに、当社の課題も改善していけそうです。長年向き合えずにいた課題に正面から向き合い、動き始めるきっかけとなりました。